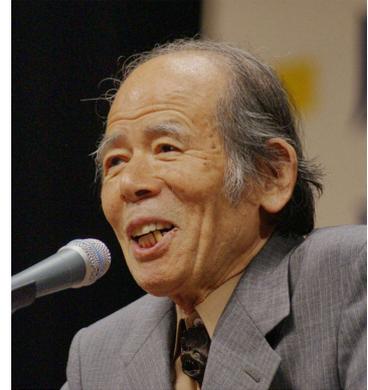


池田龍雄さんのご逝去を悼む

「戦争を許さない市民の会」の共同代表で画家の池田龍雄さんが、昨2020年11月30日に誤えん性肺炎でお亡くなりになりました。92歳でした。心からおくやみ申しあげます。

強い反戦・反権力の意志と信念をお持ちになり、春と秋に毎年開かれてきた「怒りの大集会」の呼びかけ発起人としてその先頭に立ち、美術家として「美術・九条の会」の結成も呼びかけてこられた池田龍雄さん。池田さんとともに、憲法9条の改悪に反対し、新たな戦争とファシズムを阻むために力を尽くしてきたものとして、本当に残念でなりません。



例えば2001年10月に、ブッシュ米政権がアフガニスタンへの侵略戦争を開始し、ときの小泉政権がこれに参戦する策動を強めていたまさにその時に、森井眞、弓削達、土屋公献の三先生とともに、池田龍雄さんは「報復戦争に反対する会」を結成し（その後「戦争を許さない市民の会」に名称を変更）、以来こんにちまで営々と私たちの先頭に立ってこられました。池田さんの反戦・反権力の強いところごしは、理不尽な戦争体験に根ざしているとみずから語っておられました。商業学校生だった14歳の池田さんは「学校の名誉のため」と海軍航空隊に志願させられ、そのご特攻隊員として8月15日の17歳の誕生日に敗戦を迎え、戦後は入学した師範学校を「元特攻隊員」の経歴ゆえに追放された。池田さんは、国家によって振り回されるのは二度とごめんであり、「芸術が一番自由だ」と画家になられた。岡本太郎や花田清輝らのアバンギャルド芸術運動に参加し、安部公房や埴谷雄高ら文学や演劇など多様な分野の人々とも交流し、絵画のみならぬ多彩な創作活動をくりひろげてこられました。

池田さんは、「怒りの大集会」に集った若者をはじめとした方々に、みずからの戦争体験を語り、反戦・反権力の闘いに立ち上がることを呼びかけてこられました。会場にはいつも池田さんの絵画作品が展示され、「芸術燃えよ 戦火は消えろ」などのメッセージが作品には添えてありました。池田さんの出品を楽しみに集会に参加される方も少なくありませんでした。

私たちは、先生の反戦の思いを受け継ぎ、再び日本を暗黒の時代に引き戻させないために、反戦・反改憲・反ファシズムのたたかいを力強く創造することを誓います。

池田龍雄さん、ほんとうにありがとうございました。安らかにやすみください。

2021年3月

戦争を許さない市民の会